

# 中小企業景況調査報告書

( 第103回 )

平成18年 7 ~ 9 月期 実 績

平成18年 10 ~ 12 月期 見通し

平成18年10月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

# ・ 調 査 要 領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成18年 9 月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成18年 7 ~ 9 月期実績及び平成18年10~12月期の見通し

## 2. 調 査 対 象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	43	58	47	74	50	272
中 規 模	19	13	34	17	27	110
合 計	62	71	81	91	77	382
構成比(%)	16.2	18.6	21.2	23.8	20.2	100.0

### (2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 23社、建設業 20社、卸売業 8社、  
小売業 20社、サービス業 27社、合計 98社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

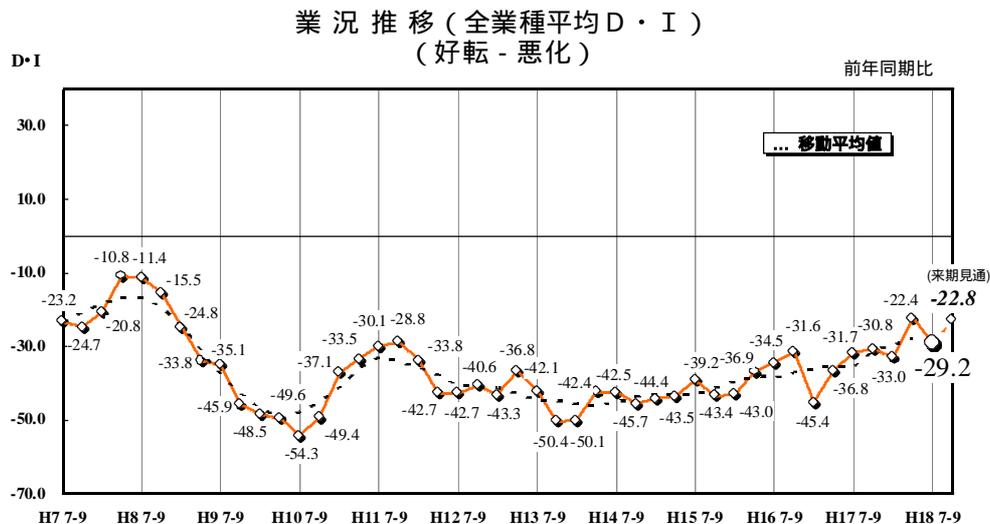
- 業況は依然マイナス水準で推移 -

## 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（7月～9月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成18年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 14.4、前年同期比（平成17年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 29.2と、業況は依然マイナス水準となっている。

業種別では、前年同期比で製造 42.6、建設 31.4、卸売 16.7、小売 30.0、サービス 25.0となっており、製造業のマイナス幅が最も大きい。

前回の調査（平成18年4月～6月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 11.5 今回 14.4とマイナス幅が拡大しており、また、前年同期比でも前回 22.4 今回 29.2と6.8ポイントマイナス幅が拡大した。



業界動向調査における企業の声では、製造業からは引き続き「原油価格高騰の影響による原材料価格の上昇」などによる採算の悪化や「売上高の減少」を訴える企業が多い。また、建設業からは「民間工事・公共工事の受注の減少」「請負単価の低下」による売上高の減少などの声が引き続き寄せられている。

卸売業からは「工事量の減少」による建築関連資材の売上減少の声、また、小売業では「大型店の影響」等による購買力の流出や、「販売価格の低下」などによる売上の減少を訴える声が寄せられている。サービス業からは、「燃料費の高騰」や

「需要の減少」による採算悪化の声が出ている。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成17年10月～12月期の水準と比較した来期の見通し）では 22.8と、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として各企業が1位に挙げているのは、景気の低迷による「需要の停滞」が全業種で高いウエイトを占めているが、製造業では「原材料価格の上昇」（42.5%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（26.2%）、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」（14.7%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（22.3%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（17.5%）などの問題点が浮上している。

設備投資については、景気の低迷による先行き不透明感などから、依然、慎重な動きが続いている。（今期設備投資を行った企業は全業種平均で11.4%）

## 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 42.6（来期見通し 25.5）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成18年4月～6月期）時点からの推移では、前回 15.9 今回 42.6と26.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「原油価格高騰の影響に伴う原材料価格の上昇」による採算悪化の声が多く寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・引き続き、原油の高騰は収まらず苦慮している。（食料品）
- ・売上額減少、原材料価格の値上りにより、採算、業況とも悪化した。（食料品）
- ・人員削減による生産体制の縮小や原材料価格の上昇により、採算、業況ともに悪化した。（金属製品）
- ・需要の低下により、売上額は減少、採算、業況ともに悪化した。（コンクリート）
- ・原油の高騰により原材料（樹脂、インキ、溶剤）の価格が上昇しており、製品価格への転嫁が遅れている。（化学）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 31.4（来期見通し 31.8）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成18年4月～6月期）時点からの推移では、前回 22.2 今回 31.4と9.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは依然「民間工事・公共工事の減少」などによる売上高の減少や「燃料費の高騰」による利益率の悪化などの声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・公共事業の減少により厳しい状況が続いている。(建設)
- ・民間工事の受注(特に新築工事)がなく、採算、業況ともに悪化した。(一般工事)
- ・公共事業の縮減の影響が大きく、業況はさらに厳しさを増してきている。(建設)
- ・前年同期に比べて売上、収益ともに減少している。公共事業の発注について、国、道、市ともに減少してきており見通しは厳しい。民間工事では利益は少ないが、リフォーム、アパート、マンションなどの工事が多少出てきている。また石油価格高騰の影響で、建築資材に価格が転嫁されてきている。(一般工事)

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 16.7(来期見通 9.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成18年4月～6月期)時点からの推移では、前回 19.3 今回 16.7と2.6ポイントマイナス幅が縮小したものの、依然マイナス水準で推移している。

業界組合・企業よりのコメントでは、特に、建築関連資材の業界で「工事量の減少」による売上の減少や「原油高騰の影響」による採算の悪化などを訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・工事量の減少で建築資材の売上額は減少した。競争激化などから、粗利益は減少、採算も悪化した。(建築資材)
- ・マンション等の耐震偽装問題の発生に伴い工事着工の延期や中止による影響が出ている。(建築資材)
- ・8月に入り天候は回復したがすでに遅く、夏物商品の動きは悪いまま終了した。売上高は前年割れのままで推移。(卸売)
- ・前年同期に比べて売上は僅かながら上昇したが、原油高騰の影響を受け利益率は低下した。石油関連製品は仕入価格がやや下がったが、まだ高止まりしている感がある。(農業資材)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 30.0(来期見通 23.3)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成18年4月～6月期)時点からの推移では、前回 30.9 今回 30.0と0.9ポイントマイナス幅が縮小したものの、依然水面下のままとなっている。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出や、「販売価格の低下」などによる売上の減少などを訴える声や、夏のイベントで商店街への集客が増大したなどの声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・中小小売店では、大型店の影響を受けており、依然として厳しい状況にある。(小売)
- ・大型店などの影響により販売価格が低下している。売上額は減少、採算、業況ともに悪化し

た。(食料品)

- ・客単価の下落が止まらない。7月決算は前年同月比で5%減少、採算、業況ともに悪化した。

(食料品)

- ・夏のイベントによる集客が増大。ワゴンセールによる飲食販売が奏功し、一時的に売上は伸びた。しかし、本業の商品販売には結びつかず苦しい状況には変わらない。(小売)

## 【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 25.0(来期見通 24.7)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成18年4月~6月期)時点からの推移では、前回 23.7 今回 25.0と1.3ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「燃料費の高騰」による採算悪化や「需要の低下」による売上の減少を訴える声が出ている。

[主なコメント]

- ・不採算路線の廃止等により、売上額は減少、燃料費の高騰により、採算、業況ともに悪化した。(道路旅客運送)
- ・市況の変化、公共工事の減少により、売上額は減少、採算は悪化した。(道路旅客運送)
- ・原油価格の高騰に伴うコストを価格に転嫁できず厳しい状況が続いている。(自動車整備)
- ・売上げは横ばい。燃料価格の上昇が負担となりつつある。(レストラン)

## 道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

道内各商工会議所の相談窓口(中小企業相談所)からみた状況については、依然、景気の低迷を反映した、売上の減少、倒産、廃業に関する相談案件が増加しているが、一部で、創業に関する相談や設備資金に関する案件も徐々に出てきている。

今期の小規模事業者向けの経営改善資金(マル経資金)の斡旋状況は、累計金額で前年同期比増加しているとの声が出ている一方、総体的に取扱い件数が少なく、需要が伸びているとは言えないとの声も聞かれる。

道の制度資金について、前年同期比で増加している地域では、セーフティネット貸付の需要増加の他、工場、事業所などの施設の新・増設に対応する「産業振興資金」企業立地貸付の大口の取扱いがあったというコメントが寄せられているが、総体的に取扱いが減少している地域も見受けられる。

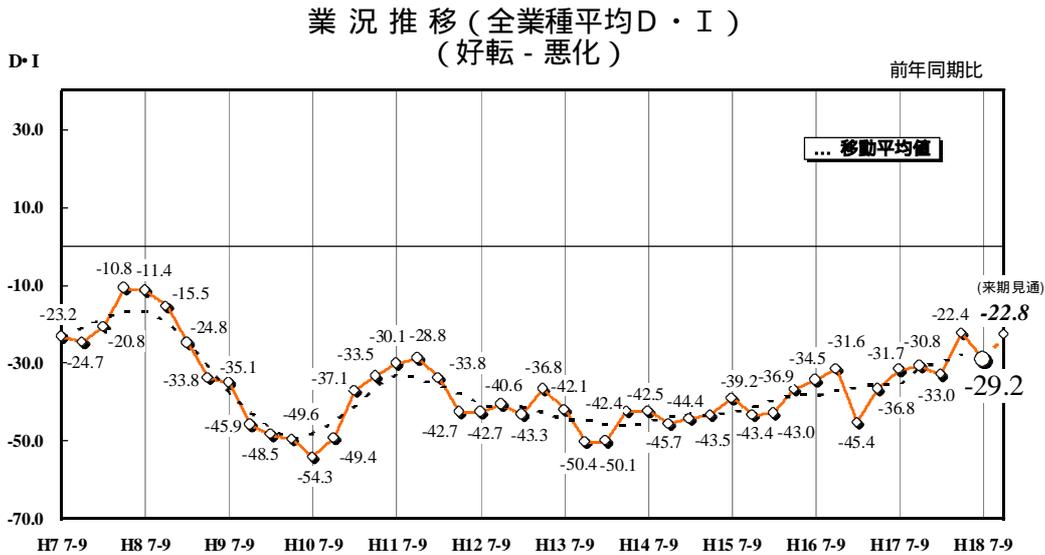
資金用途については、道の制度資金では「設備資金」の割合が増加してきており、一方、マル経資金では、依然「運転資金」の割合が高い状況となっている。

日銀のゼロ金利政策解除により、10月より道の制度資金はセーフティネット貸付、災害貸付及び景気変動対策特別貸付を除き金利が0.2%上昇した。

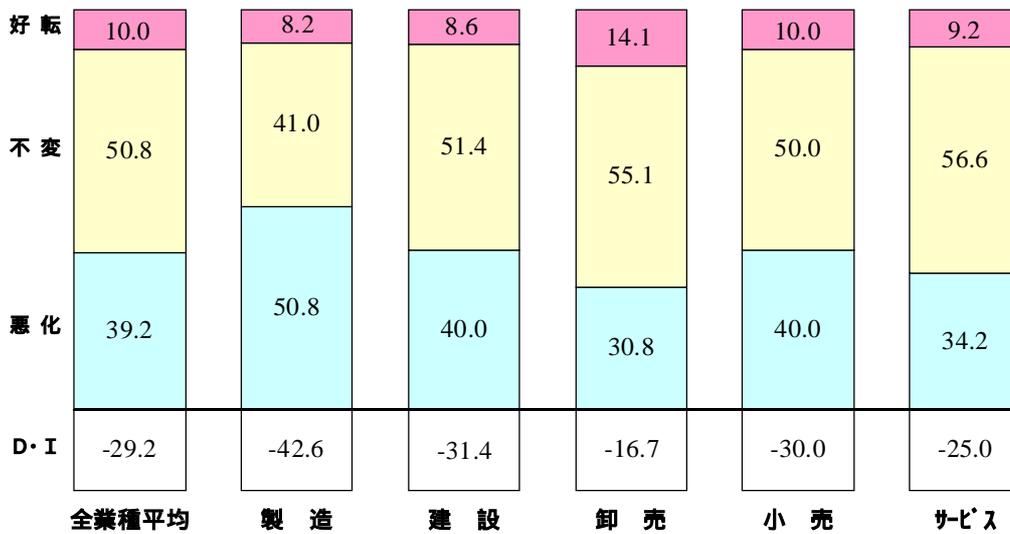
# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成17年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



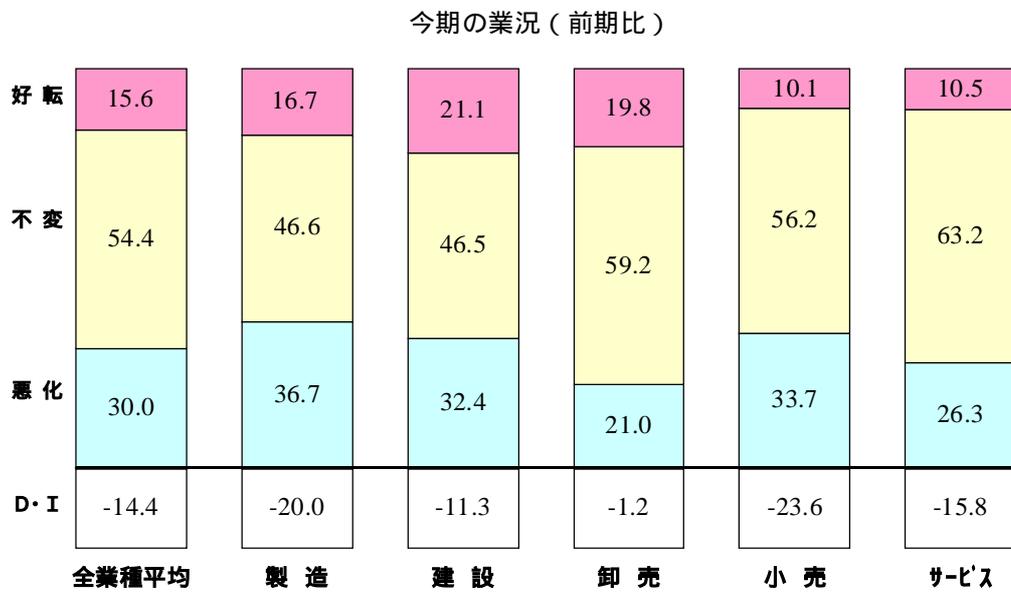
今期の業況（前年同期比）



全業種平均でD・I値 29.2〔前回調査時（平成18年4～6月期 22.4）6.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 15.9 42.6〕、建設〔前回 22.2 31.4〕  
卸売〔前回 19.3 16.7〕、小売〔前回 30.9 30.0〕  
サービス〔前回 23.7 25.0〕

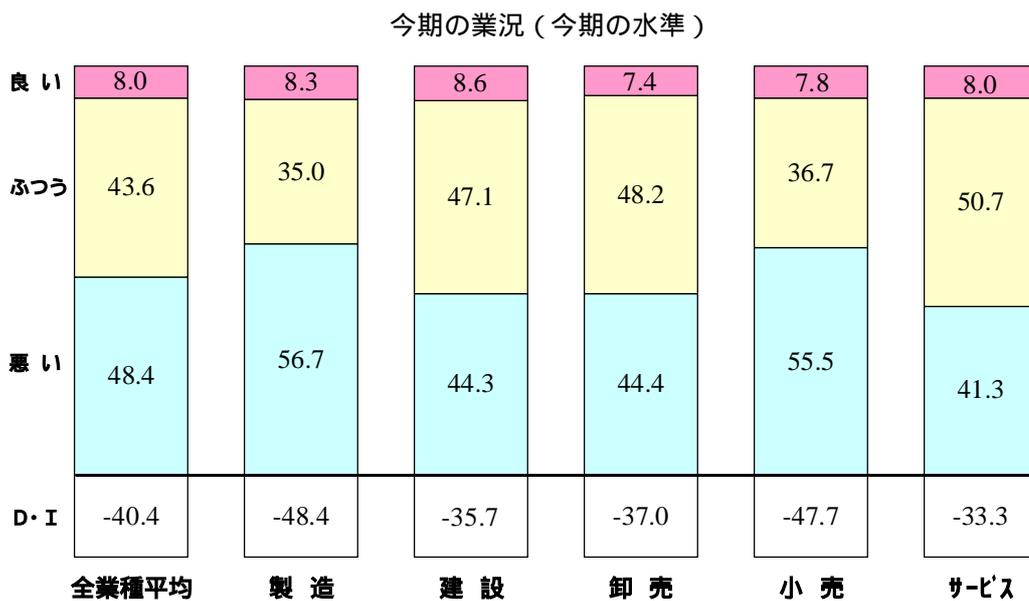
【前期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 14.4〔前回調査時（平成18年4～6月期 11.5）より2.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 4.7 20.0〕、建設〔前回 12.7 11.3〕  
卸売〔前回 9.3 1.2〕、小売〔前回 17.7 23.6〕  
サービス〔前回 12.7 15.8〕

【今期の水準】

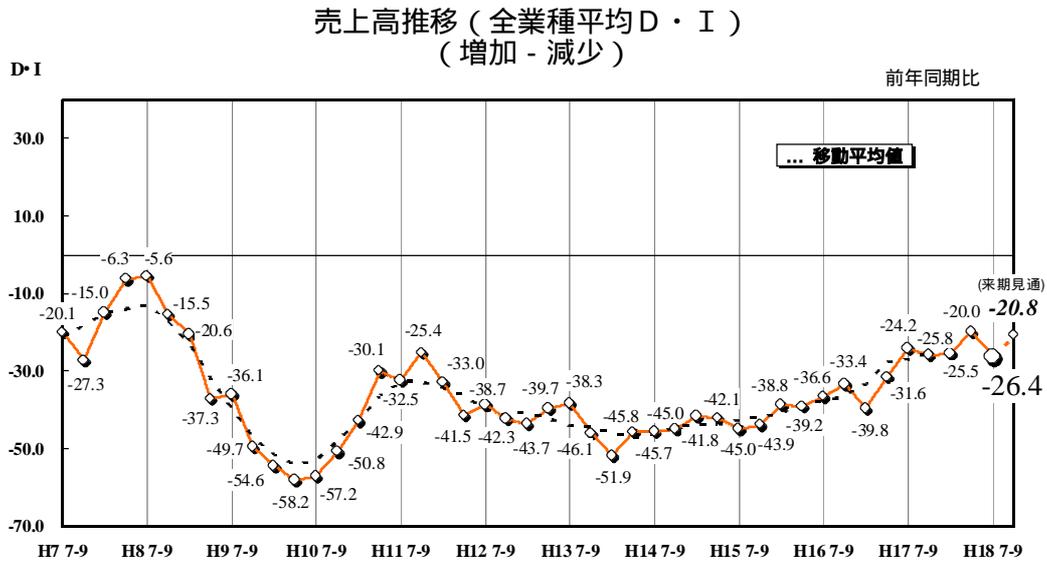


全業種平均でD・I値 40.4〔前回調査時（平成18年4～6月期 35.4）より5.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

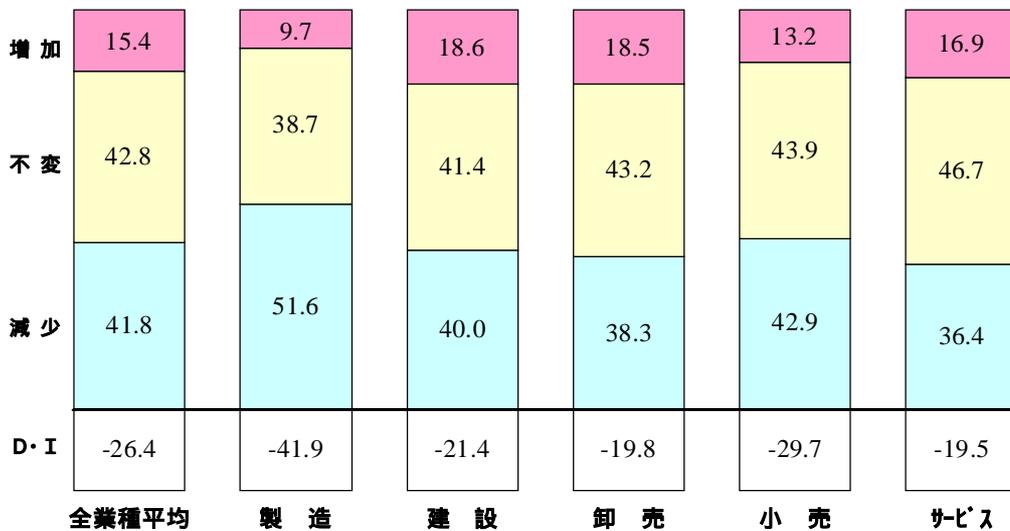
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 27.4 48.4〕、建設〔前回 33.8 35.7〕  
卸売〔前回 29.1 37.0〕、小売〔前回 46.9 47.7〕  
サービス〔前回 40.0 33.3〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成17年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



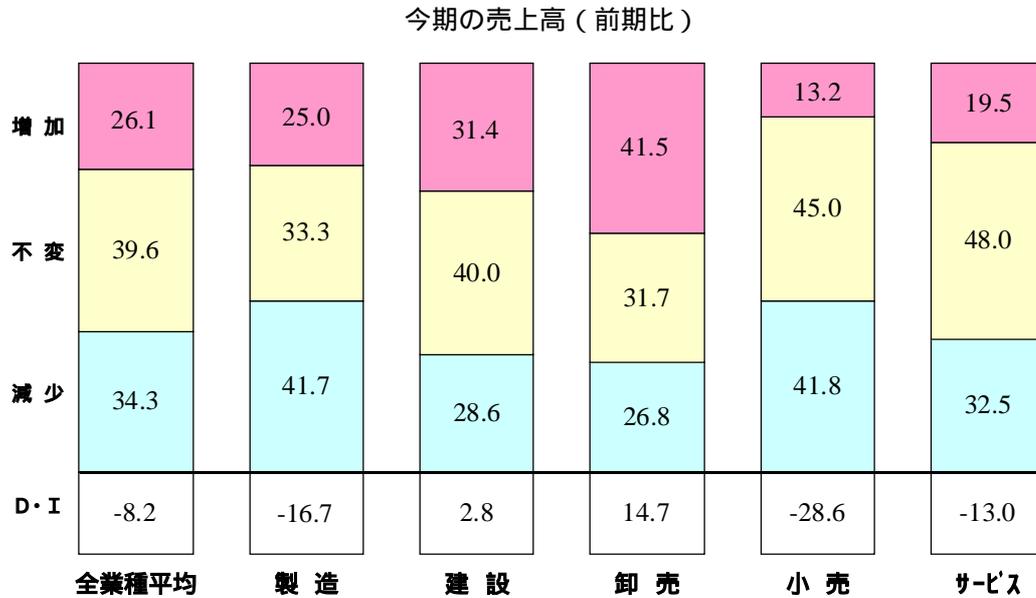
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 26.4〔前回調査時（平成18年4～6月期 20.0）より6.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 9.5 41.9〕、建設〔前回 25.4 21.4〕  
卸売〔前回 20.4 19.8〕、小売〔前回 28.9 29.7〕  
サービス〔前回 16.2 19.5〕

【前期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

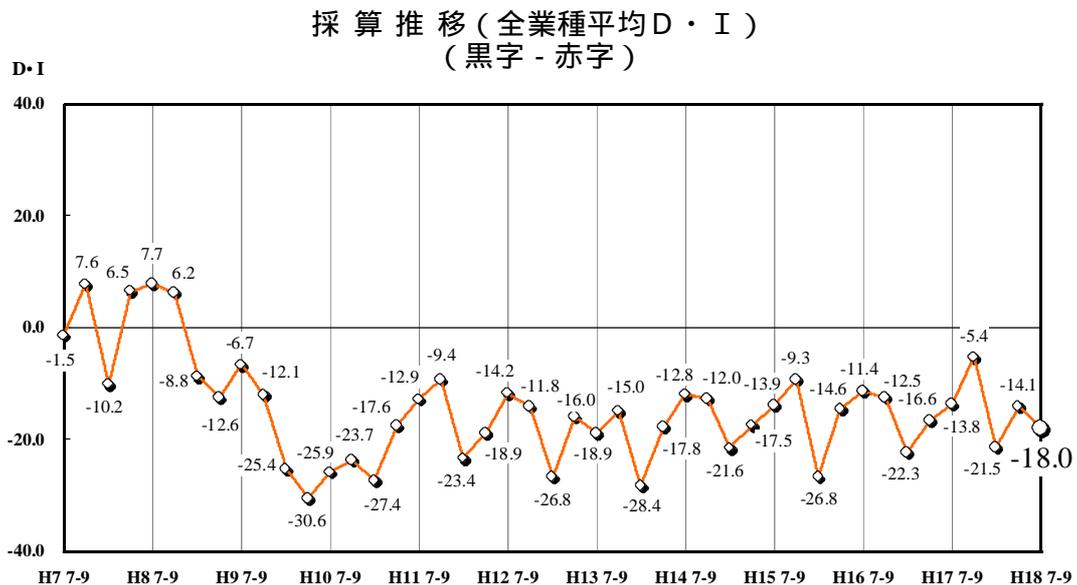


全業種平均でD・I値 8.2〔前回調査時（平成18年4～6月期 1.9）より10.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

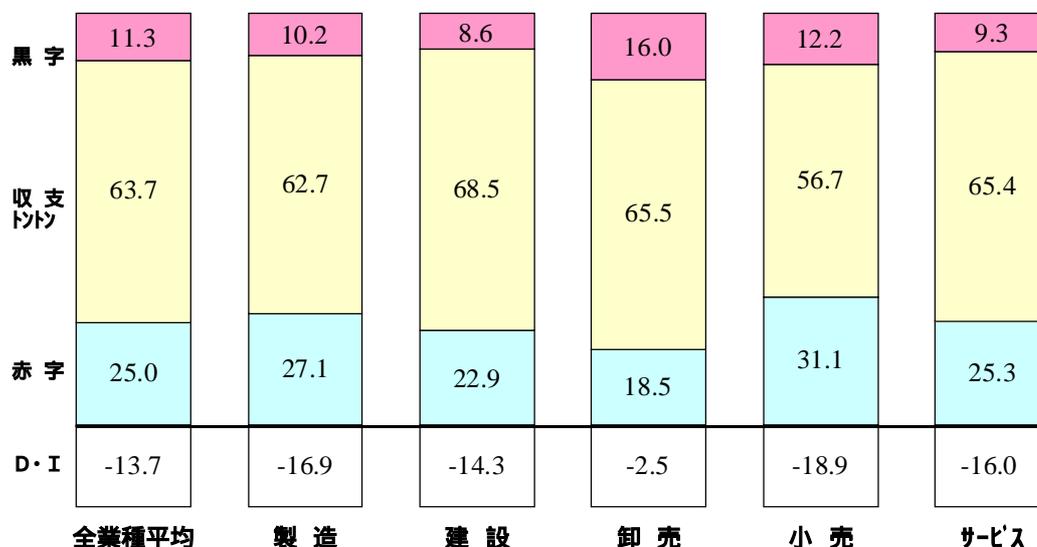
〔業種別D・I値〕 製造〔前回18.3 16.7〕、建設〔前回1.4 2.8〕  
 卸売〔前回 1.2 14.7〕、小売〔前回 10.4 28.6〕  
 サービス〔前回1.2 13.0〕

（3）今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



今期の採算（今期の水準）

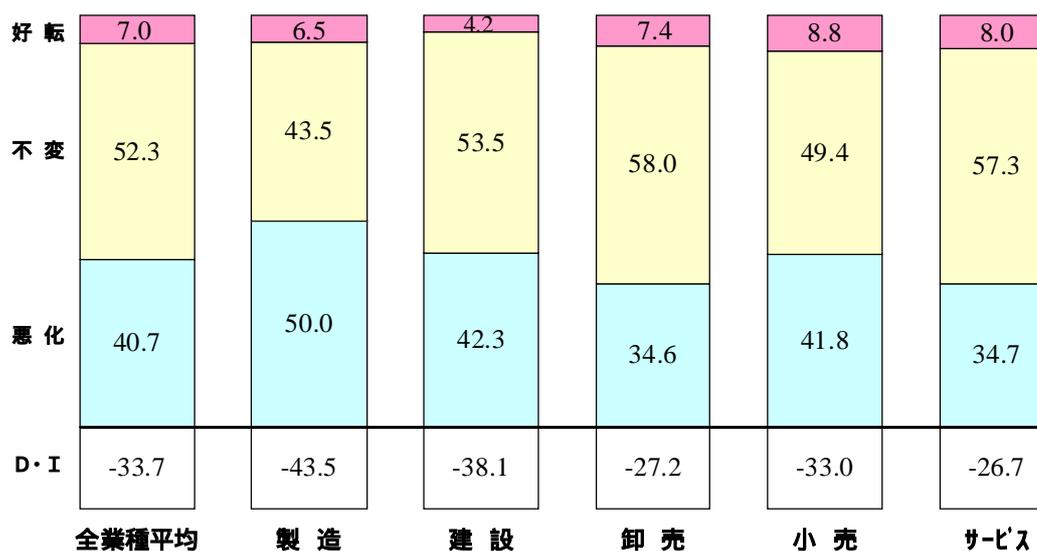


全業種平均でD・I値 13.7〔前回調査時（平成18年4～6月期 14.1）より0.4ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 3.3 16.9〕、建設〔前回 14.1 14.3〕  
卸売〔前回 6.9 2.5〕、小売〔前回 24.2 18.9〕  
サービス〔前回 22.4 16.0〕

【前年同期比】（平成17年7～9月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

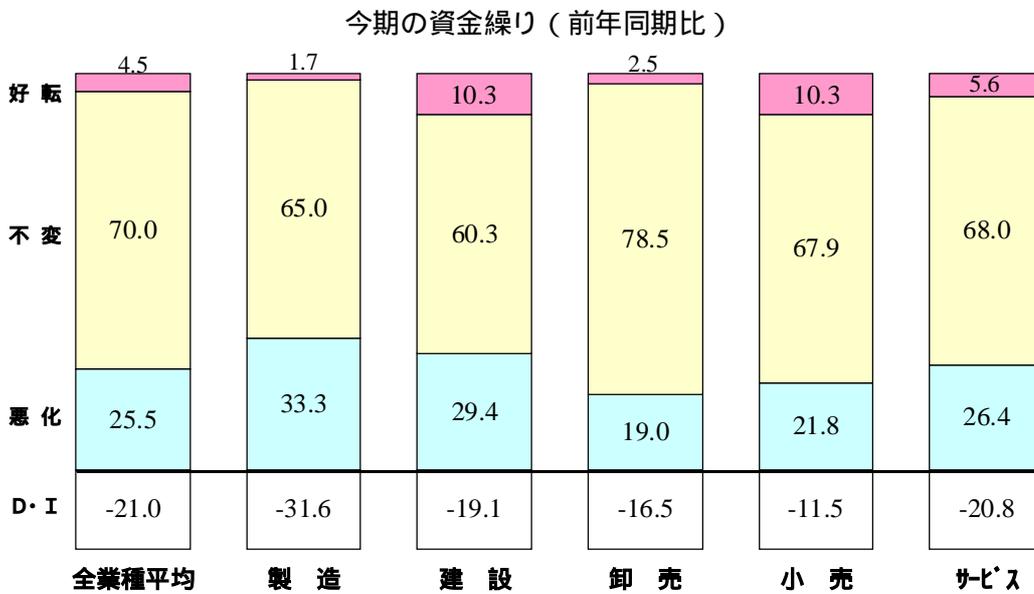
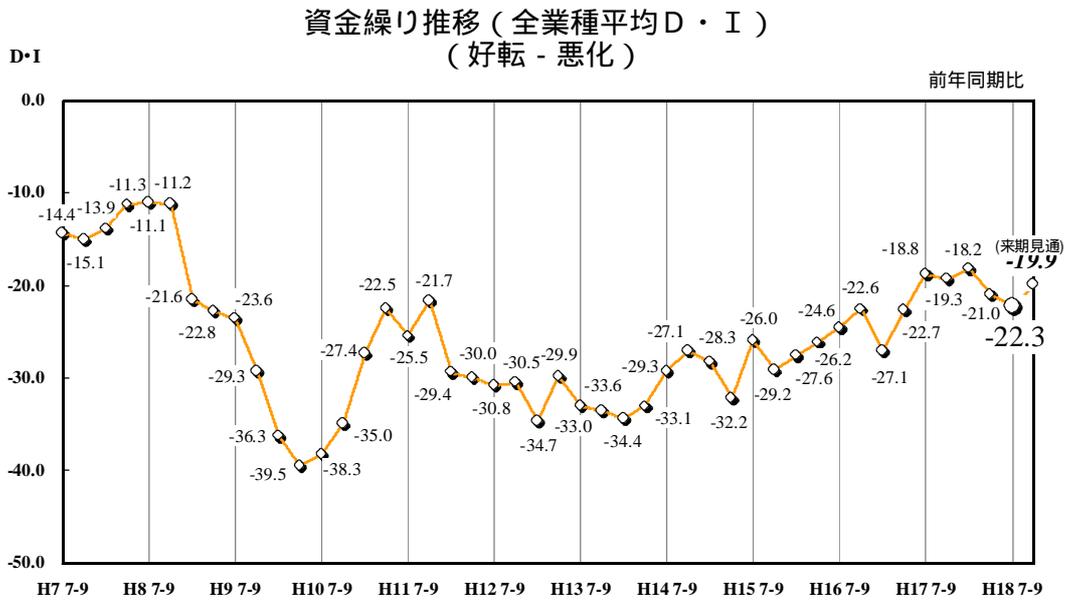


全業種平均でD・I値 33.7〔前回調査時（平成18年4～6月期 31.7）より2.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 23.8 43.5〕、建設〔前回 39.0 38.1〕  
卸売〔前回 26.1 27.2〕、小売〔前回 37.1 33.0〕  
サービス〔前回 32.1 26.7〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成17年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）



全業種平均でD・I値 21.0〔前回調査時（平成18年4～6月期 21.0）と同水準で推移〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 22.2 31.6〕、建設〔前回 16.9 19.1〕  
卸売〔前回 13.8 16.5〕、小売〔前回 25.0 11.5〕  
サービス〔前回 27.4 20.8〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「原材料価格の上昇」	(42.5%) [前回 32.8%]
	「需要の停滞」	(33.3%) [前回 27.0%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(7.4%) [前回 13.5%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(26.2%) [前回 31.9%]
	「民間需要の停滞」	(20.0%) [前回 13.6%]
	「官公需要の停滞」	(18.5%) [前回 27.3%]
卸売業	「需要の停滞」	(46.7%) [前回 43.2%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(14.7%) [前回 17.3%]
	「仕入単価の上昇」	(12.0%) [前回 8.6%]
小売業	「大型・中型店進出競争の激化」	(22.3%) [前回 29.3%]
	「需要の停滞」	(19.8%) [前回 14.7%]
	「同業店の進出」	(15.0%) [前回 10.1%]
	「購買力の他地域への流出」	(13.8%) [前回 10.1%]
サービス業	「需要の停滞」	(26.2%) [前回 26.4%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(17.5%) [前回 13.8%]
	「人件費以外の経費の増加」	(11.6%) [前回 6.9%]
	「熟練従業員の確保難」	(8.7%) [前回 8.3%]

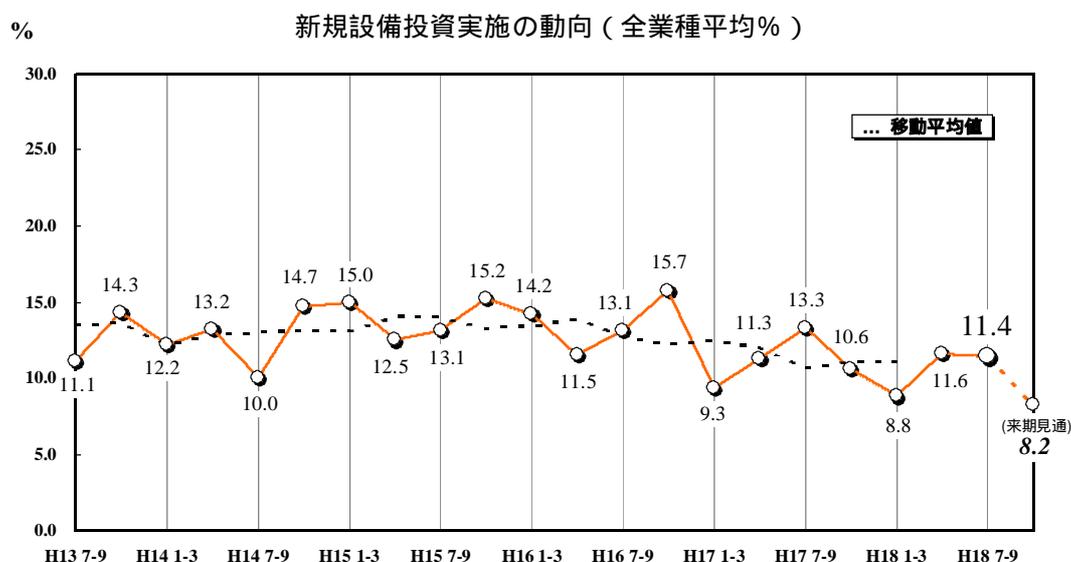
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値 1.7〔前回調査時(平成18年4~6月期 0.7)より1.0ポイントマイナス幅が拡大〕。また、「適正」とする企業が85.3%と大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 0.0 8.5〕(適正84.7%)  
 建設〔前回 1.4 2.9〕(適正85.3%)  
 卸売〔前回 3.7 5.2〕(適正87.0%)  
 小売〔前回 4.4 5.9〕(適正84.7%)  
 サービス〔前回 5.6 3.0〕(適正84.8%)

## (7) 今期の新規設備投資



### 今期の新規設備投資の動向

（単位％）

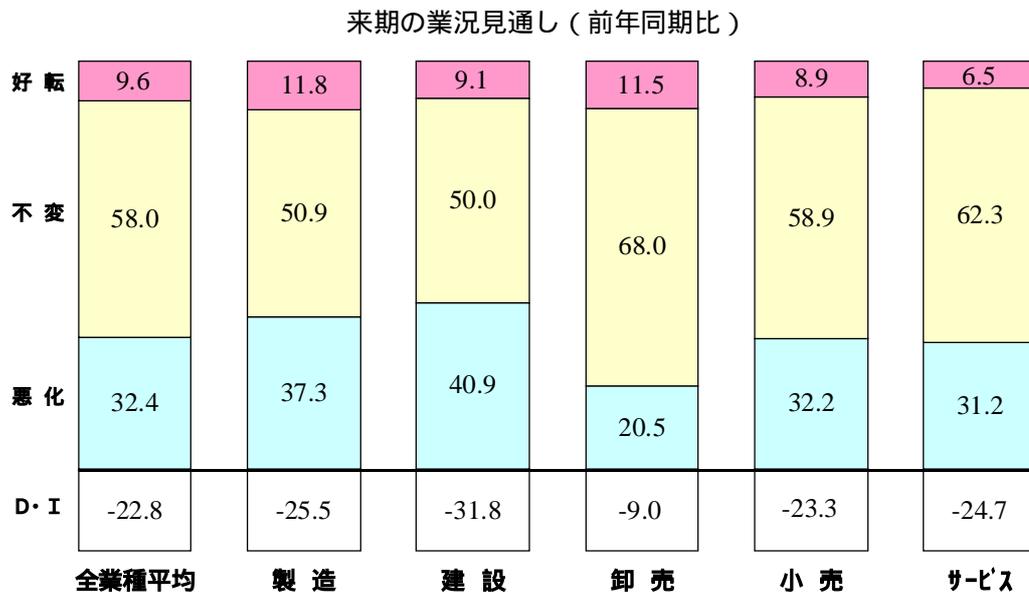
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	19.4	7.1	7.3	6.6	16.7	11.4
土地	0.0	20.0	0.0	0.0	7.7	5.5
工場建物、建物、店舗	8.3	20.0	16.7	33.3	15.4	18.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	25.0	0.0	33.3	0.0	7.7	13.2
車両運搬具	41.7	80.0	16.7	33.3	30.8	40.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	8.3	0.0	20.0	33.3	15.4	15.4
O A 機器	25.0	0.0	0.0	16.7	38.5	16.0
厚生施設	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
その他	0.0	20.0	0.0	0.0	15.4	7.1
実施していない	80.6	92.9	92.7	93.4	83.3	88.6

新たに設備投資を実施した企業は平均で11.4%〔前回調査時（平成18年4～6月期11.6%）より0.2%低下〕、業種別では製造〔前回19.4% 19.4%〕、建設〔前回10.0% 7.1%〕、卸売〔前回8.0% 7.3%〕、小売〔前回4.2% 6.6%〕、サービス〔前回16.3% 16.7%〕と、建設、卸売で前回調査時の水準をやや下回った。

## 2. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 22.8〔今期の業況（前年同期比 23.0）より0.2ポイント改善の見通し〕。

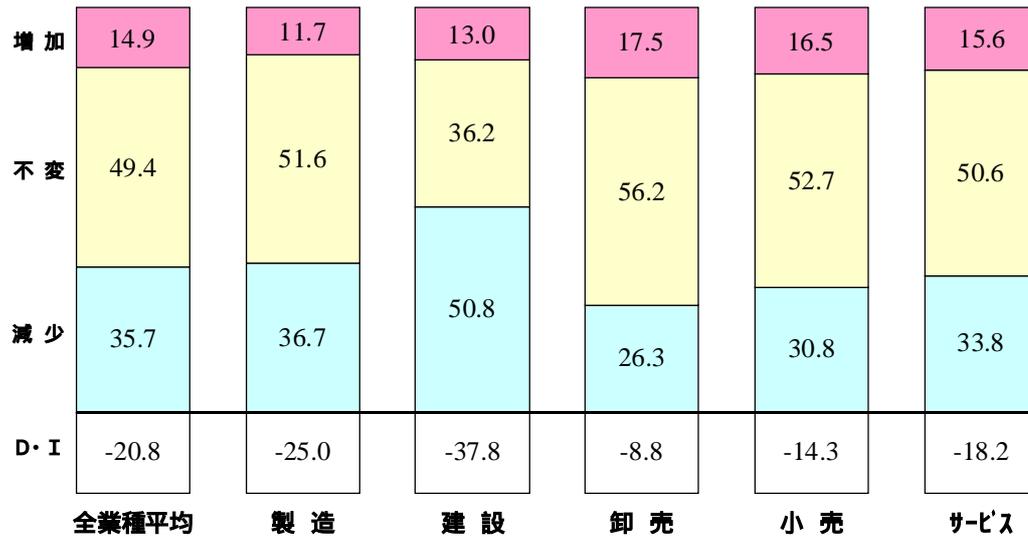
【今期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

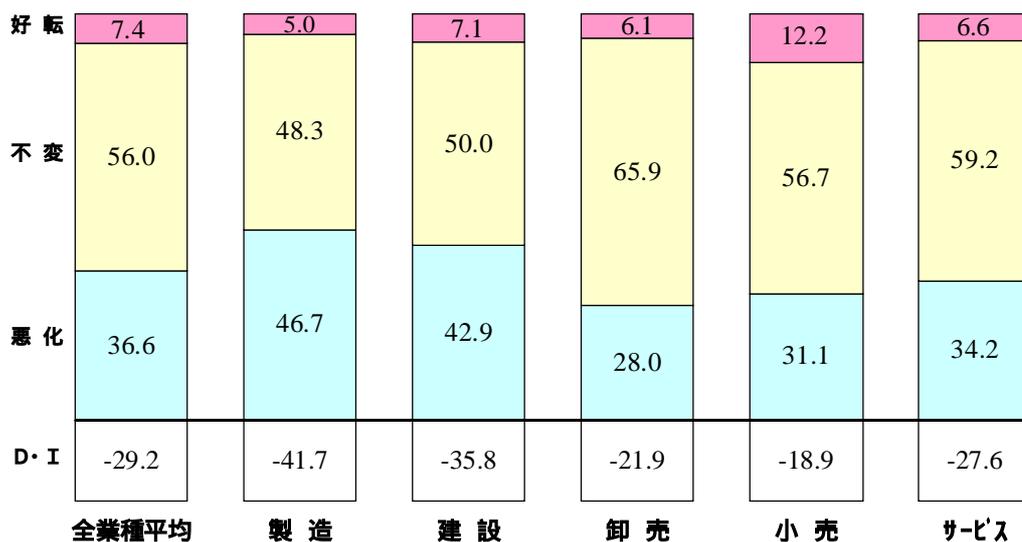


全業種平均でD・I値 20.8〔今期の売上高（前年同期比 21.0）より0.2ポイント改善の見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 29.2〔今期の採算（前年同期比 28.1）より1.1ポイント悪化の見通し〕。

## (4) 来期の新規設備投資

### 来期の新規設備投資の動向

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	11.3	2.9	8.8	8.8	9.2	8.2
土地	0.0	50.0	14.3	0.0	0.0	12.9
工場建物、建物、店舗	28.6	0.0	14.3	12.5	14.3	13.9
生産・販売・サービス設備、建設機械	0.0	0.0	14.3	25.0	14.3	10.7
車両運搬具	28.6	50.0	28.6	37.5	14.3	31.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	0.0	0.0	12.5	42.9	11.1
OA機器	28.6	0.0	57.1	25.0	0.0	22.1
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	11.4
実施しない	88.7	97.1	91.2	91.2	90.8	91.8

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**8.2%**となっており、今期(11.4%)を下回る見通し。

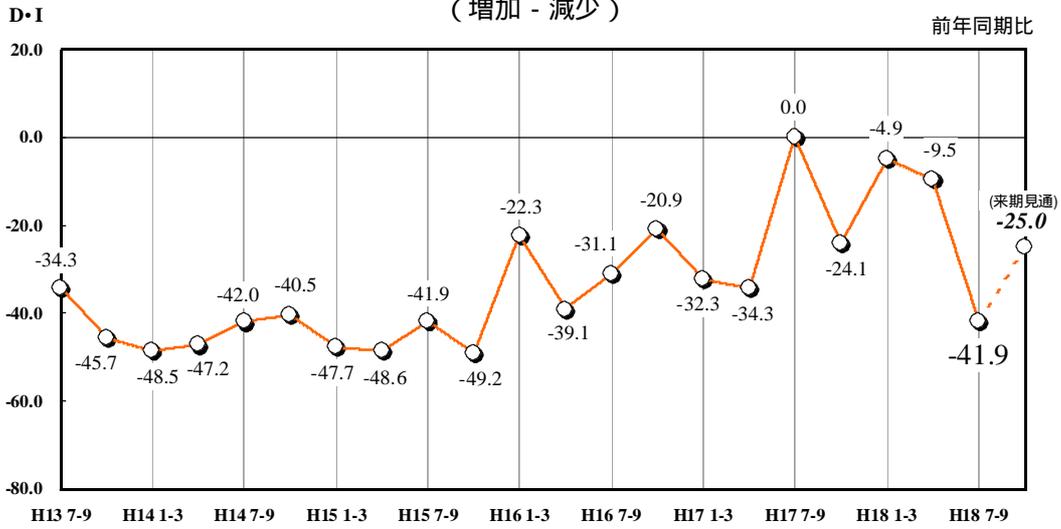
業種別では、製造〔今期19.4% 11.3%〕、建設〔今期7.1% 2.9%〕、卸売〔今期7.3% 8.8%〕、小売〔今期6.6% 8.8%〕、サービス〔今期16.7% 9.2%〕となっている。

## 業種別の動向

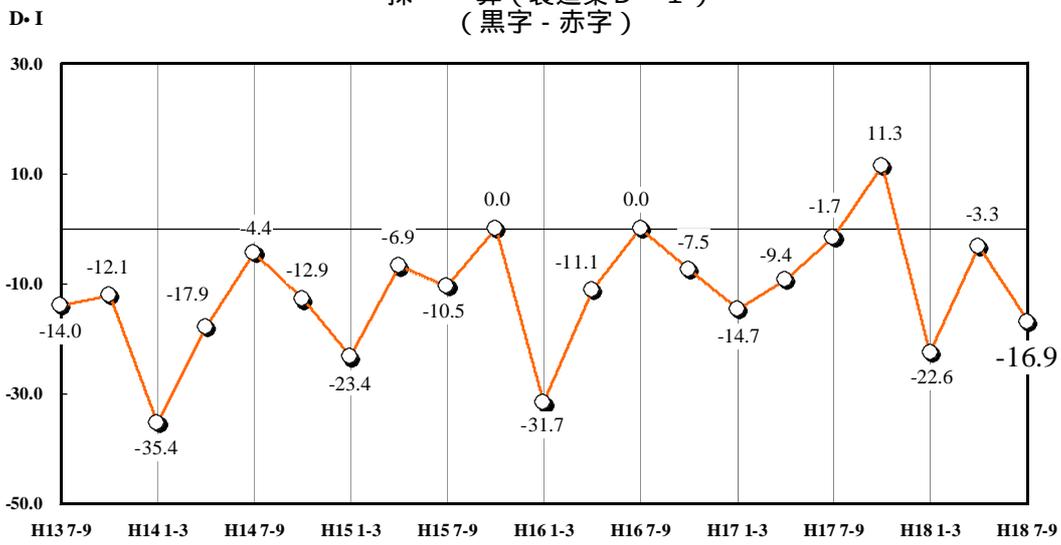
### (1) 製造業



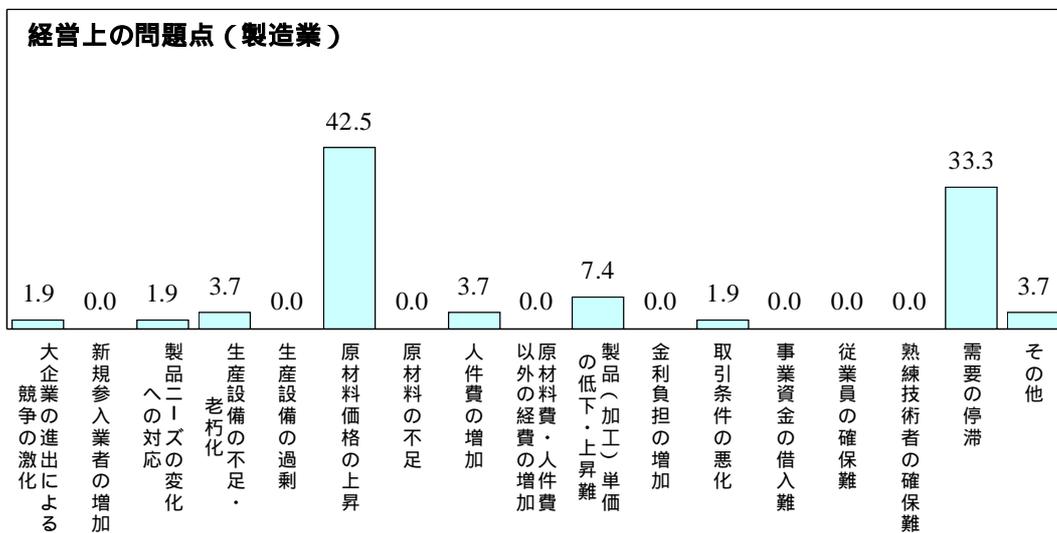
売上高（製造業D・I）  
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）  
（黒字 - 赤字）



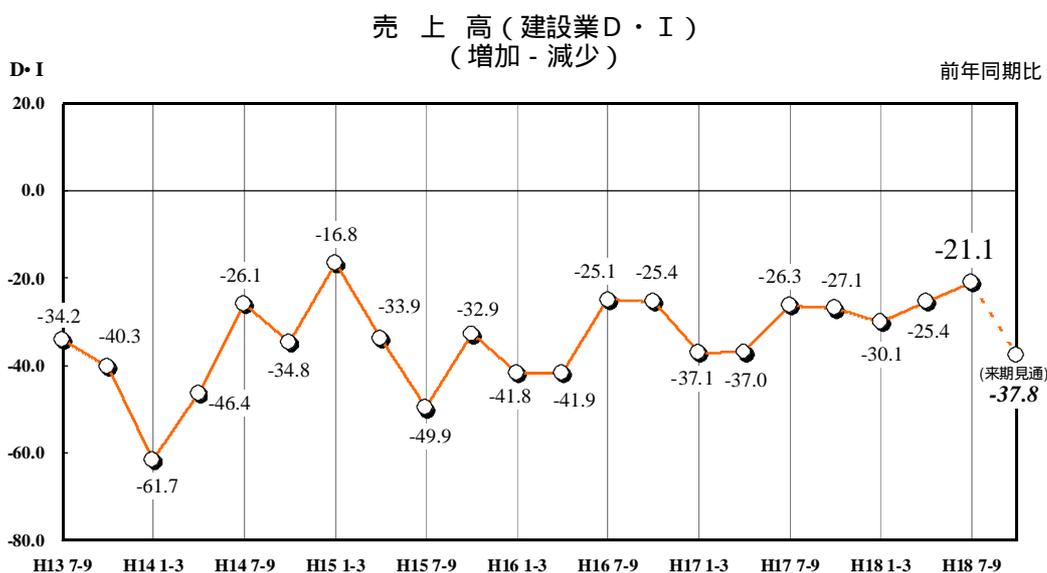
経営上の問題点



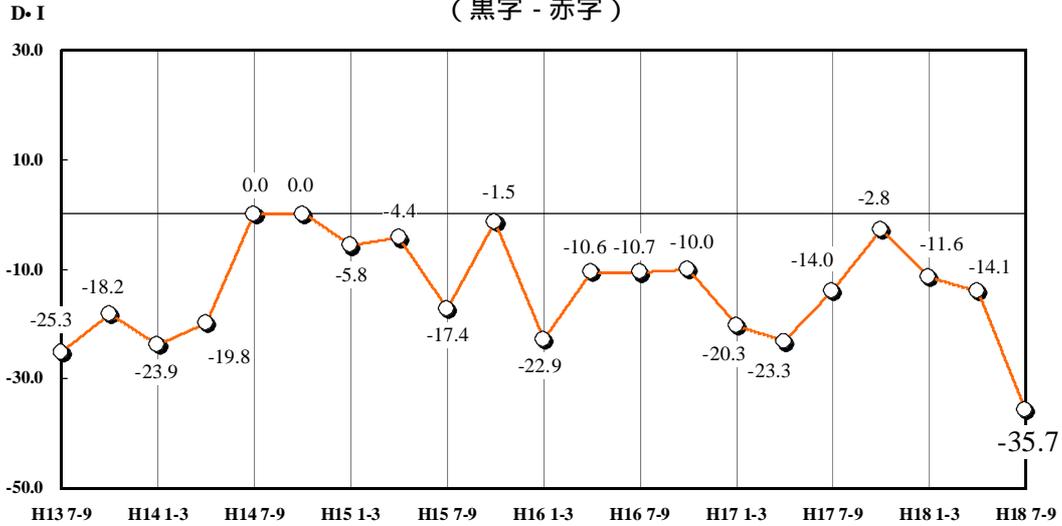
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	32.2	30.1	31.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	6.8	10.0 (今期比)
短期 "	-----	7.0	8.5 (今期比)
設 備 操 業 率	31.1	-----	26.7 (前年同期比)

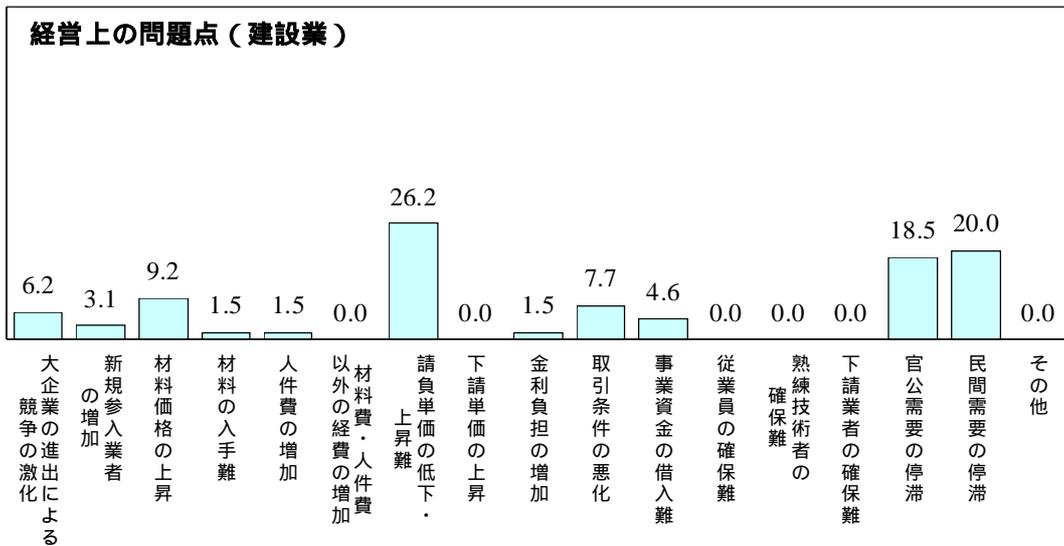
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



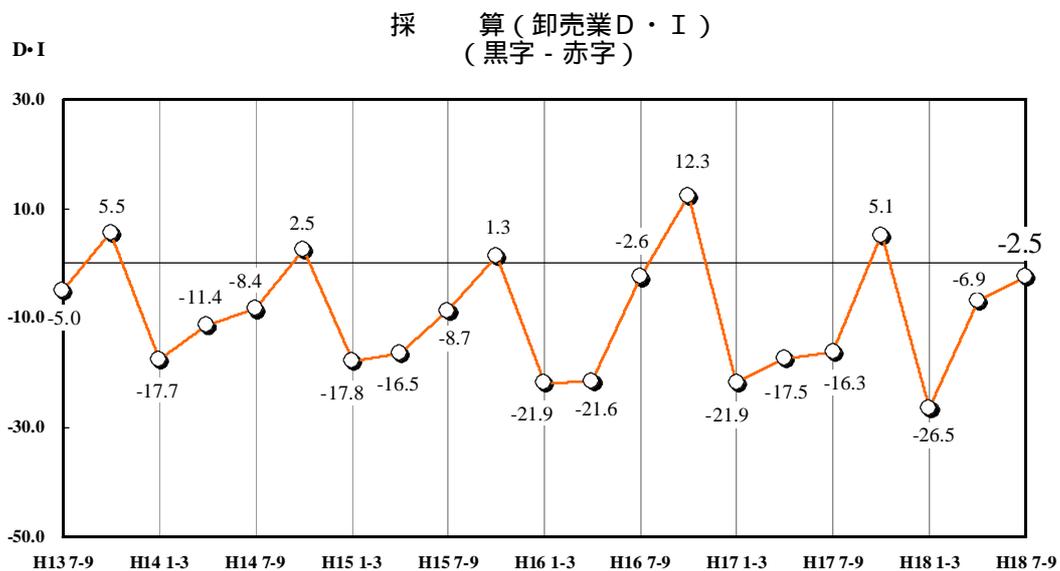
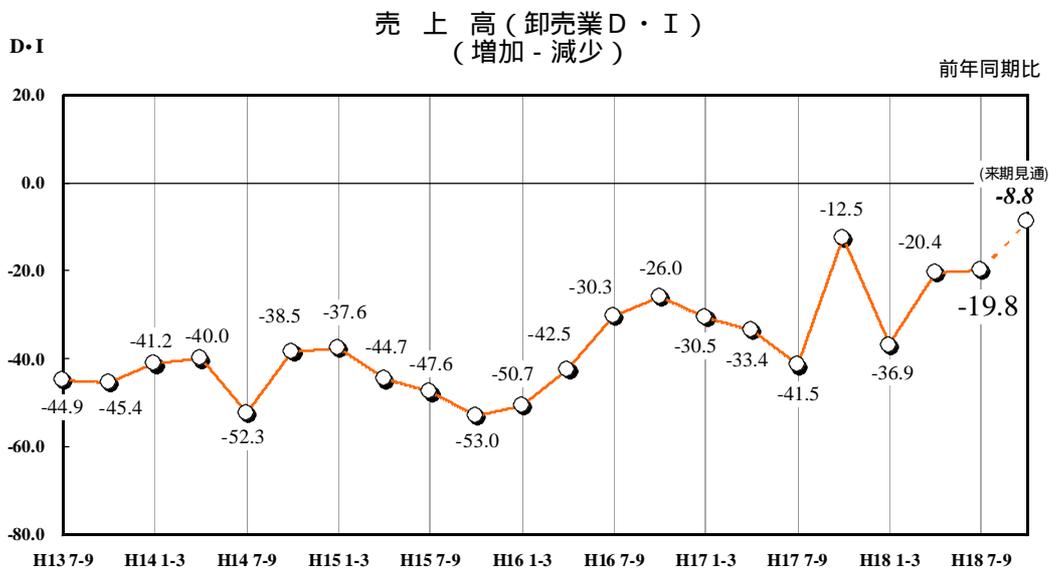
経営上の問題点



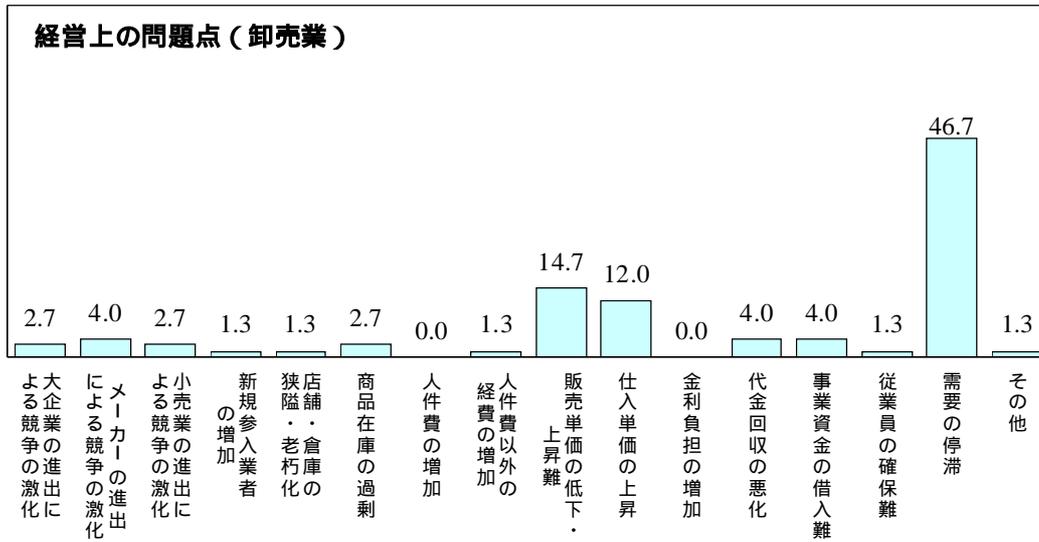
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	15.9	5.8	19.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.1	3.1 (今期比)
短期 "	-----	1.5	0.0 (今期比)
受注(新規契約工事)額	26.8	-----	31.3 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業



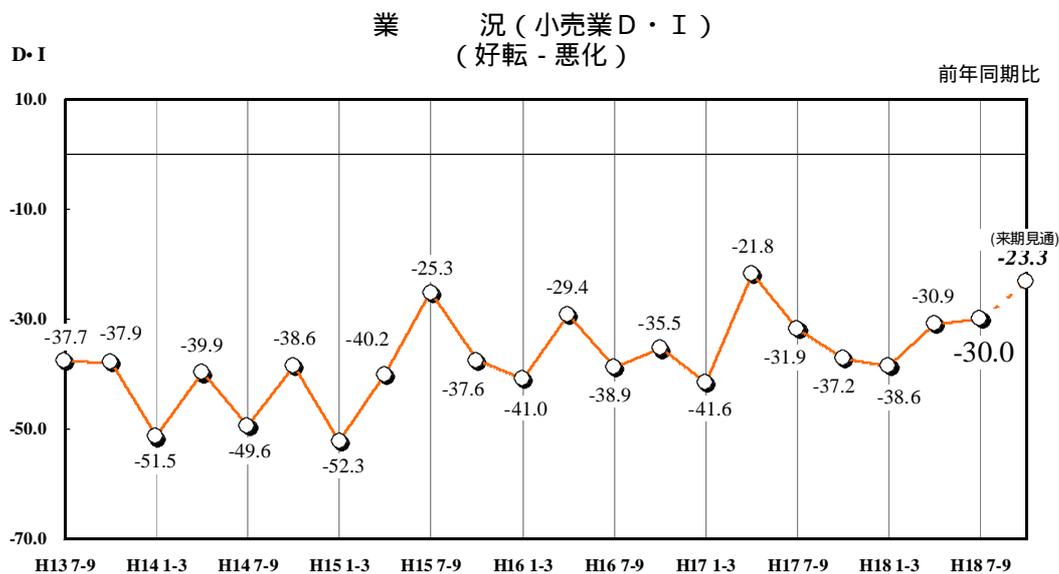
## 経営上の問題点



## その他（D・I値）

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	19.7	12.2	16.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.4	2.6 (今期比)
短期 "	-----	5.4	4.0 (今期比)
商品在庫数量	19.8	-----	18.3 (前年同期比)

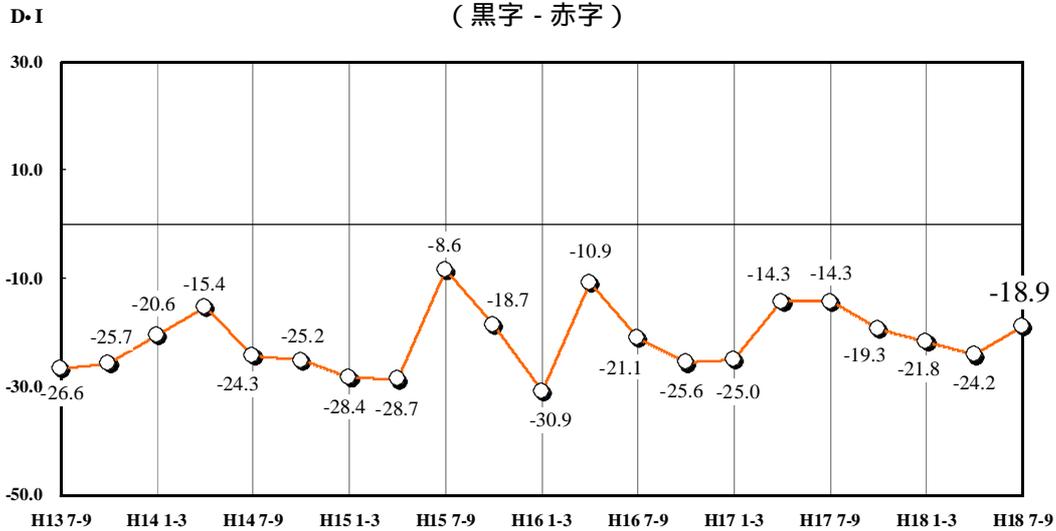
## (4) 小 売 業



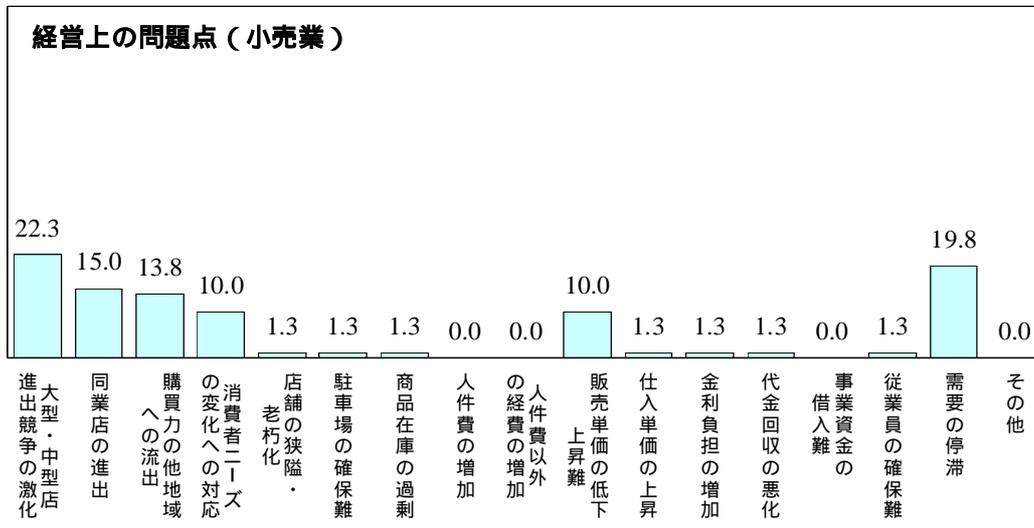
売上高(小売業D・I)  
(増加-減少)



採算(小売業D・I)  
(黒字-赤字)



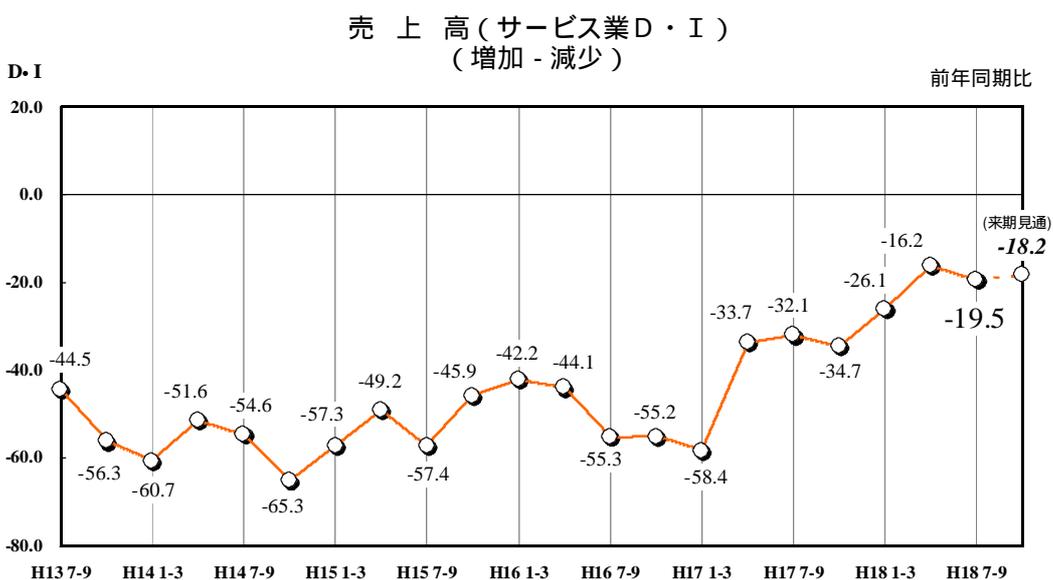
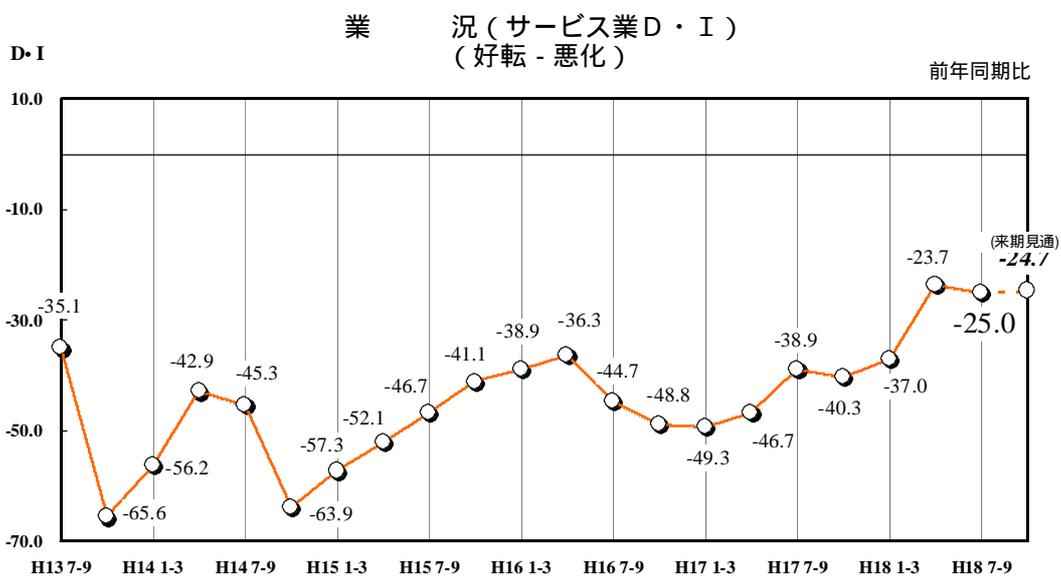
経営上の問題点



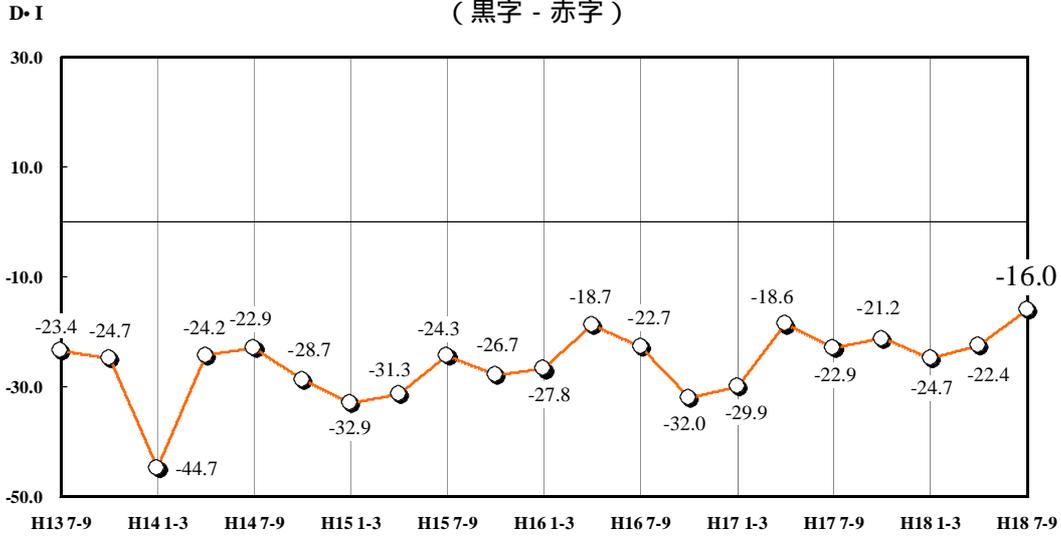
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	18.4	11.5	11.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	6.3	6.5 (今期比)
短期 〃	-----	2.6	5.3 (今期比)
商品在庫数量	28.6	-----	22.3 (前年同期比)

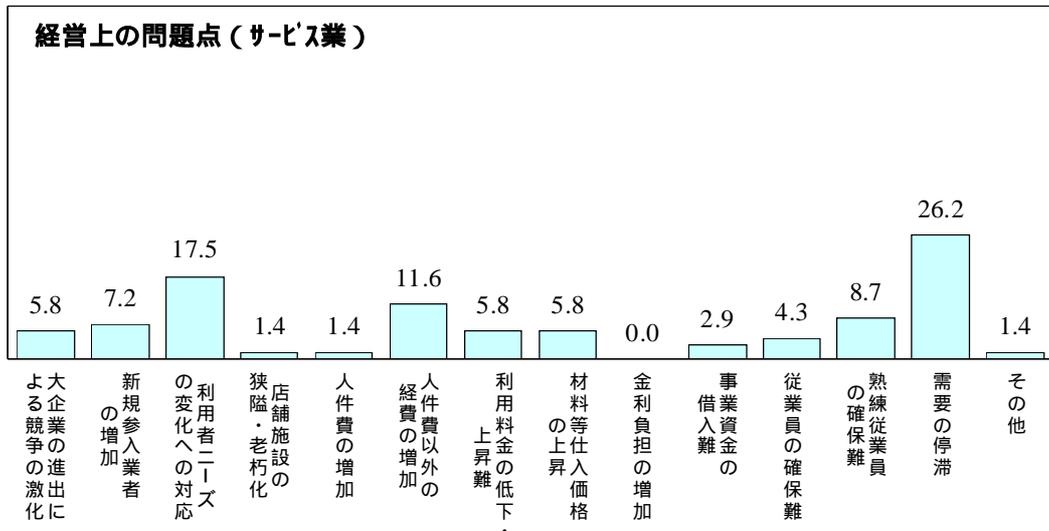
(5) サービス業



採 算 (サービス業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	25.4	16.9	20.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	13.4	19.1 (今期比)
短期 "	-----	7.7	13.7 (今期比)
利 用 客 数	26.3	10.7	21.1 (前年同期比)

# 業種別調査資料

## 1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成18年7月～9月)の水準			
	↗		↘	D・I
業 況 (自 社)	8.3	35.0	56.7	-48.4
生産に対する原材料在庫	7.1	85.8	7.1	0.0
売上に対する製品在庫	9.6	83.3	7.1	2.5
採 算 (経常利益)	10.2	62.7	27.1	-16.9
引 合 計	5.5	40.0	54.5	-49.0
生 産 設 備	15.0	75.0	10.0	5.0
従 業 員 (含臨時・パート)	11.9	84.7	3.4	8.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年7月～9月)に比べて				前期(平成18年4月～6月)に比べて				前年同期(平成17年10月～12月)と比べた 来 期(平成18年10月～12月)の見通し			
	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I
A 売 上 (加 工) 額	9.7	38.7	51.6	-41.9	25.0	33.3	41.7	-16.7	11.7	51.6	36.7	-25.0
B 売 上 (加 工) 単 価	11.3	54.8	33.9	-22.6	13.3	61.7	25.0	-11.7	13.3	60.0	26.7	-13.4
C 売 上 (加 工) 数 量	12.9	33.9	53.2	-40.3	23.3	38.4	38.3	-15.0	11.7	50.0	38.3	-26.6
D 資 金 繰 り	8.1	51.6	40.3	-32.2	6.7	56.6	36.7	-30.0	1.7	65.0	33.3	-31.6
E 輸 出 額	25.0	75.0	0.0	25.0					30.0	70.0	0.0	30.0
F 原 材 料 仕 入 単 価	77.4	22.6	0.0	77.4					68.3	31.7	0.0	68.3
G 原 材 料 在 庫 数 量	6.9	63.8	29.3	-22.4					5.3	73.6	21.1	-15.8
H 製 品 在 庫 数 量	5.6	61.1	33.3	-27.7					5.8	67.3	26.9	-21.1
I 採 算 (経常利益)	6.5	43.5	50.0	-43.5					5.0	48.3	46.7	-41.7
J 従 業 員 (含臨時・パート)	11.5	70.5	18.0	-6.5					10.2	72.9	16.9	-6.7
K 外 部 人 材 (請負・派遣)	11.8	73.5	14.7	-2.9					11.4	77.2	11.4	0.0
L 設 備 操 業 率	8.2	52.5	39.3	-31.1					10.0	53.3	36.7	-26.7
M 引 合 計	5.5	43.6	50.9	-45.4								
N 受 注 残	3.7	50.0	46.3	-42.6								
	8.2	41.0	50.8	-42.6	16.7	46.6	36.7	-20.0	11.8	50.9	37.3	-25.5
O 業 況 (自 社)	前年同期(平成17年7月～9月)に比べて				前期(平成18年4月～6月)に比べて				今 期(平成18年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成18年10月～12月)の見通し			
P 受 取 手 形 期 間					2.1	97.9	0.0	2.1	2.1	50.0	28.3	-6.6
Q 長 期 資 金 借 入 難 度					0.0	93.2	6.8	-6.8	0.0	90.0	10.0	-10.0
R 短 期 資 金 借 入 難 度 (含手形割引)					1.8	89.4	8.8	-7.0	1.7	88.1	10.2	-8.5
S 借 入 金 利					33.3	66.7	0.0	33.3	32.8	67.2	0.0	32.8

↗ : 増加      ↗ : 上昇      ↗ : 好転      ↗ : 長期化      ↗ : 容易  
 - : 不変 (A, C, E, G, H, J, K, M, N)      - : 不変 (B, F, L, S)      - : 不変 (D, I, O)      - : 不 変 (P)      - : 不変 (Q, R)  
 ↘ : 減少      ↘ : 低下      ↘ : 悪化      ↘ : 短期化      ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	19.4	0.0	8.3	25.0	41.7	8.3	25.0	16.7	0.0	80.6
来 期	11.3	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	88.7

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	1.9	3.7
新規参入業者の増加	0.0	3.7
製品ニーズの変化への対応	1.9	22.2
生産設備の不足・老朽化	3.7	11.1
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	42.5	66.7
原材料の不足	0.0	1.9
人件費の増加	3.7	14.8
原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	16.7
製品(加工)単価の低下・上昇難	7.4	48.1
金利負担の増加	0.0	3.7
取引条件の悪化	1.9	13.0
事業資金の借入難	0.0	3.7
従業員の確保難	0.0	0.0
熟練技術者の確保難	0.0	1.9
需要の停滞	33.3	64.8
そ の 他	3.7	7.4



### 3. 卸 売 業

(1) 今期の水準

(単位: %)

区 分	今 期(平成18年7月~9月)の水準			
	↗		↘	D・I
業 況 (自 社)	7.4	48.2	44.4	-37.0
売 上 対 する 商 品 在 庫	18.5	76.6	4.9	13.6
採 算 (経 常 利 益)	16.0	65.5	18.5	-2.5
引 合 計	9.0	53.8	37.2	-28.2
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	3.9	87.0	9.1	-5.2

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年7月~9月)に比べて				前期(平成18年4月~6月)に比べて				前年同期(平成17年10月~12月)と比べた 来 期(平成18年10月~12月)の見通し			
	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I
A 売 上 額	18.5	43.2	38.3	-19.8	41.5	31.7	26.8	14.7	17.5	56.2	26.3	-8.8
B 売 上 単 価	16.0	59.3	24.7	-8.7	11.0	70.7	18.3	-7.3	16.3	64.9	18.8	-2.5
C 資 金 繰 り	2.5	75.3	22.2	-19.7	4.9	78.0	17.1	-12.2	2.5	78.5	19.0	-16.5
D 商 品 仕 入 単 価	33.3	55.6	11.1	22.2					34.1	58.6	7.3	26.8
E 商 品 仕 入 数 量	14.8	53.1	32.1	-17.3					14.6	62.2	23.2	-8.6
F 商 品 在 庫 数 量	7.4	65.4	27.2	-19.8					6.1	69.5	24.4	-18.3
G 採 算 (経 常 利 益)	7.4	58.0	34.6	-27.2					6.1	65.9	28.0	-21.9
H 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	3.8	75.7	20.5	-16.7					3.8	83.4	12.8	-9.0
I 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	6.3	88.9	4.8	1.5					1.6	92.1	6.3	-4.7
J 引 合 計	13.2	48.6	38.2	-25.0								
	14.1	55.1	30.8	-16.7	19.8	59.2	21.0	-1.2	11.5	68.0	20.5	-9.0
K 業 況 (自 社)	前年同期(平成17年7月~9月)に比べて				前期(平成18年4月~6月)に比べて				今 期(平成18年 7月~ 9月)と比べた 来 期(平成18年10月~12月)の見通し			
									16.0	63.0	21.0	-5.0
L 受 取 手 形 期 間					2.8	94.4	2.8	0.0	2.8	94.4	2.8	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					8.1	82.4	9.5	-1.4	6.7	84.0	9.3	-2.6
N 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					9.5	86.4	4.1	5.4	9.3	85.4	5.3	4.0
O 借 入 金 利					13.3	86.7	0.0	13.3	21.1	78.9	0.0	21.1

↗ : 増加  
 - : 不変 (A, E, F, H, I, J)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変 (B, D, O)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変 (C, G, K)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 長期化  
 - : 不 変 (L)  
 ↘ : 短期化  
 ↗ : 容易  
 - : 不 変 (M, N)  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	倉 庫	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	7.3	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	92.7
来 期	8.8	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	91.2

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1~3 位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.7	9.3
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	4.0	8.0
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.7	9.3
新 規 参 入 業 者 の 増 加	1.3	8.0
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	1.3	5.3
商 品 在 庫 の 過 剰	2.7	8.0
人 件 費 の 増 加	0.0	2.7
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	1.3	22.7
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	14.7	48.0
仕 入 単 価 の 上 昇	12.0	30.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	9.3
代 金 回 収 の 悪 化	4.0	21.3
事 業 資 金 の 借 入 難	4.0	9.3
従 業 員 の 確 保 難	1.3	4.0
需 要 の 停 滞	46.7	66.7
そ の 他	1.3	4.0



## 5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成18年7月～9月)の水準			
	↗		↘	D・I
業 況 (自 社)	8.0	50.7	41.3	-33.3
採 算 (経常利益)	9.3	65.4	25.3	-16.0
従 業 員 (含臨時・パート)	6.1	84.8	9.1	-3.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年7月～9月)に比べて				前期(平成18年4月～6月)に比べて				前年同期(平成17年10月～12月)と比べた 来 期(平成18年10月～12月)の見通し			
	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I
A 売 上 ( 収 入 ) 額	16.9	46.7	36.4	-19.5	19.5	48.0	32.5	-13.0	15.6	50.6	33.8	-18.2
B 客 単 価	4.0	70.7	25.3	-21.3	5.3	76.0	18.7	-13.4	2.7	77.3	20.0	-17.3
C 利 用 客 数	10.5	52.7	36.8	-26.3	17.3	54.7	28.0	-10.7	10.5	57.9	31.6	-21.1
D 資 金 繰 り	4.2	66.2	29.6	-25.4	5.6	71.9	22.5	-16.9	5.6	68.0	26.4	-20.8
E 仕 入 単 価 ( 材 料 等 )	37.5	61.1	1.4	36.1					30.1	64.4	5.5	24.6
F 採 算 ( 経 常 利 益 )	8.0	57.3	34.7	-26.7					6.6	59.2	34.2	-27.6
G 従 業 員 ( 含 臨 時 ・ パ ー ト )	5.9	67.6	26.5	-20.6					1.5	82.3	16.2	-14.7
H 外 部 人 材 ( 請 負 ・ 派 遣 )	9.1	79.5	11.4	-2.3					2.0	89.8	8.2	-6.2
I 業 況 ( 自 社 )	9.2	56.6	34.2	-25.0	10.5	63.2	26.3	-15.8	6.5	62.3	31.2	-24.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度					3.0	80.6	16.4	-13.4	1.5	77.9	20.6	-19.1
M 短 期 資 金 借 入 難 度 ( 含 手 形 割 引 )					3.1	86.1	10.8	-7.7	3.0	80.3	16.7	-13.7
N 借 入 金 利					12.1	81.8	6.1	6.0	17.9	74.6	7.5	10.4

↗ : 増加  
 - : 不変 ( A , C , G , H )  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変 ( B , E , N )  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変 ( D , F , I )  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変 ( L , M )  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	16.7	7.7	15.4	7.7	30.8	15.4	38.5	0.0	15.4	83.3
来 期	9.2	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	28.6	90.8

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大企業の進出による競争の激化	5.8	14.5
新規参入業者の増加	7.2	18.8
利用者ニーズの変化への対応	17.5	42.0
店舗施設の狭隘・老朽化	1.4	15.9
人件費の増加	1.4	14.5
人件費以外の経費の増加	11.6	23.2
利用料金の低下・上昇難	5.8	29.0
材料等仕入単価の上昇	5.8	26.1
金利負担の増加	0.0	4.3
事業資金の借入難	2.9	8.7
従業員確保難	4.3	13.0
熟練従業員確保難	8.7	18.8
需要の停滞	26.2	44.9
その他	1.4	1.4